



日本共産党 中野区議会議員
作業療法士

浦野さとみの区政報告

ほっこり通信

No. 98

何でも無料生活相談実施中
e-mail: urano@jcp-seven.jp
携帯電話: 090-8049-4784

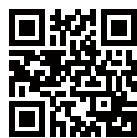
●ホームページ: <http://urano-satomi.jp>

浦野さとみ

検索

●Twitter: @urano_satomi

●Facebook: 浦野さとみ



聞かせて、
あなたのこと、
街のこと



いのちを守ることを最優先に

— 人員・施設の体制強化、検査・補償の拡充を —

新型コロナウイルス感染症は、これまでに経験したことのない爆発的な感染拡大が続いています。政府は緊急事態宣言発出で外出自粛を求める一方で、五輪・パラリンピック開催を強行したことは矛盾したメッセージにもなりました。日本共産党は、菅首相や小池知事に対し、「臨時医療施設の確保」「事業所・学校・保育園・学童クラブなどへの大規模検査」「徹底した補償」などを繰り返し提案。酒井区長に対して

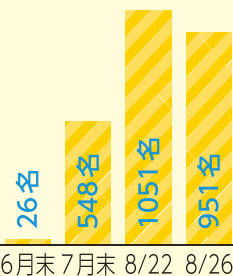


▲8/30 区長・教育長へ緊急要望

も、8月に2回の緊急要望をおこないました。デルタ株の感染力の強さは、子どもたちの感染をめぐる状況も大きく変えました。8月30日には夏

休み明けの学校対応について「分散登校やオンライン授業の実施」「子どもや教員を対象とした検査の拡充」などを要望しました。政治の責任で、いのち最優先のコロナ対策に集中すべきです。

●中野区内
自宅療養者推移



中野区内 自宅療養者 ピーク時は1000名超

6月末時点で26名だった区内自宅療養者は、8月22日には1051名に。中野区保健所も感染者数に応じた体制強化をおこなっていますが、厳しい状況が続いています。政府は「原則“自宅療養”」方針は撤回し、都や国がホテルや大規模施設などを活用しての臨時の療養施設をつくるのが急務です。

新型コロナワクチン接種 中野区の現状は？

菅政権がコロナ対策の拠り所とするワクチンですが、大幅な供給不足で中野区でも混乱が起きています。

中野区は、23区でもかなり早い段階でワクチン接種券を送付。区内各医療機関の協力により、接種を希望する65才以上の方については接種も順調に進んでいました。

接種状況(9月1日現在)	対象者	1回目接種率	2回目接種率
65才以上の方	70,492人	84.3%	81.8%
12～64才の方	240,765人	48.1%	36.3%

1回目の接種予約枠、極めて少ない状況

しかし、7月上旬頃からワクチン供給が大幅に減少。そのため、新規予約枠も受付開始直後にいっぱいとなり、64才以下の方が1回目の予約をとろうとしてもとれない状況が続いています。また、個別医療機関においても、当初の供給を見込んで予約を受け付けていたため、一旦、受けた予約も

ストップせざるを得ない状況となっています。

国は安定供給の責任を果たすべき

「国の方針に基づきワクチン接種体制に全力をあげてきたのに、ハシゴを外され、混乱している」と、全国知事会や23区区長会からも悲痛な声があがっています。政府は自治体と住民に対し、今後のスケジュールをきちんと示し、ワクチン安定供給の責任を果たすべきです。



ワクチン接種相談窓口 (コールセンター)

中野区の接種スケジュール、接種場所などの問い合わせ、接種予約などが可能です。

☎ 0570-03-5444

(毎日：午前9時～午後7時)



▲最新情報へ
アクセス

※医師会館や各区民活動センターでの集団接種は9月末で終了し、10月からは医療機関での個別接種のみとなります。

新井薬師児童館など3館、学童クラブへの転換方針

全廃方針が9館は直営で存続へ

区内の児童館について、現在、酒井区長のもとで、「**全廃する**」方針は見直され、「**9館の児童館については区直営で存続させていく**」考えが、区有施設整備計画の中で示されています。全廃方針が見直されたことは、評価できます。

一方、不安の声が

しかし、現在、18館ある児童館が半分になることについては、不安の声が寄せられています。特に、4つの児童館（新井薬師・大和西・朝日が丘は学童クラブに転換、弥生は廃止）については来年度からの転換・廃止予定のため、「来年4月からは拙速ではないか」「子どもにとっても、地域にとっても大切な施設。まずはきちんと説明して欲しい」「子どもの

居場所がどうなるか心配」「児童館の機能はどうなるのか」などの声が届いています。区は、まずは地域への十分な説明をおこない、区民から出されている不安の声にどうこたえるか、課題を共有しながら合意形成をはかっていくことが何よりも重要です。



◀新井薬師児童館

旧豊多摩監獄表門（旧中野刑務所正門）、中野区文化財指定に

— 今後、よりよい保存活用計画を、住民の皆さんとともに —

中野区有形文化財に指定された「旧豊多摩監獄表門（旧中野刑務所正門）」は、曳家により移築し、旧法務省矯正管区敷地内の西側において、保存と公開がおこなわれます。区は、今年度中に、基本計画および保存活用計画を策定する予定です。保存活用にあたっては、住民や専門家などの声を反映させていくことが大切です。



曳家予定先▶



▲通称、「平和の門」とも呼ばれています

区議会定例会のお知らせ（予定） 9/10（金）～10/15（金）

区役所3階の区議会事務局で手続きをすれば、どなたでも傍聴できます。感染防止対策をとった上で、お出かけください。

●本会議：9/10・13・14、10/4・15

●決算特別委員会：9/15・17・21・22・24、10/1

●決算分科会：9/27・28・29

●常任委員会：10/6・7・8

●特別委員会：10/11・12・13

※日本共産党区議団からは、本会議で小杉区議（9/10）といさ区議（9/13）が、決算特別委員会で浦野（9/17）と来住区議（9/21）がそれぞれ質問に立つ予定です。



浦野さとみプロフィール

1980年千葉県松戸市生まれ（40才）。2003年3月、千葉医療福祉専門学校・作業療法学科卒。同年4月、作業療法士として中野共立病院・リハビリ室入職。2008年リハビリ室主任。2011年3月、8年間勤めた病院を退職し、中野区議会議員選挙立候補、初当選。現在、3期目（厚生委員会、危機管理・感染症対策調査特別委員会〈委員長〉に所属）。趣味：竹富島への旅行、ゆずのライブへ行くこと、ソフトボール・野球。

地域のこと、身近なお困りごとなど、お気軽にご相談下さい。

弁護士をはじめ、各専門家などと連携しながら、解決に力を尽くします。

（弁護士による無料法律相談も実施中です）

